



JASDAQ

2011年11月9日

各位

会社名 株式会社ココスジャパン  
代表者名 代表取締役社長 住田 正則  
(JASDAQ・コード 9943)  
問合せ先 取締役管理本部本部長 高橋 利雄  
(TEL: 03-6833-8000)

### 2012年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2011年5月12日に公表いたしました、2012年3月期第2四半期累計期間(2011年4月1日～2011年9月30日)の業績予想との差異及び通期(2011年4月1日～2012年3月31日)の業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2012年3月期第2四半期(累計)個別業績予想との差異

(1) 第2四半期累計期間(2011年4月1日～2011年9月30日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	27,377	620	590	242	14.27円
今回実績 (B)	28,477	1,794	1,792	871	51.35円
増減額 (B - A)	+1,100	+1,174	+1,202	+629	—
増減率	+4.0%	+189.1%	+203.5%	+259.8%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2011年3月期第2四半期)	27,492	92	100	△92	△5.45円

#### (2) 差異の理由

当社は、前期のテレビコマーシャルを始めとした積極的な販売促進などの効果を活かしながら、売上高の確保による既存店の収益回復に全力で努めてまいりました。

売上高につきましては、既存店のQQSC(クオリティー・クイックサービス・クリンリネス)の水準を向上させるとともに、東日本大震災によって被災した店舗の迅速な復旧や、それぞれの地域特性に合った効果的な販売促進などを行った結果、当第2四半期累計期間の既存店売上高前年比が104.6%(前回予想+4.2ポイント)と堅調に推移したことが大きく寄与し、前回予想を上回りました。

利益面におきましては、既存店売上高の増加とともに、店舗の作業効率の向上等に取り

組んだ結果、店舗利益率が大きく改善したことに加え、本部コストの徹底的な見直しや固定費等の削減が進捗し、前回予想を上回りました。

## 2. 2012年3月期通期個別業績予想の修正

(1) 通期 (2011年4月1日～2012年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	53,945	994	950	389	22.95 円
今回修正予想 (B)	54,938	2,817	2,800	1,343	79.13 円
増減額 (B - A)	+993	+1,823	+1,850	+954	—
増減率	+1.8%	+183.3%	+194.7%	+244.8%	—
(ご参考) 前期実績 (2011年3月期)	53,771	528	545	△106	△6.29 円

### (2) 修正の理由

売上高につきましては、上半期における既存店前年比が堅調に推移したことに加え、下半期におきましても、更なるQQSCの向上や、効果的な販売促進等を引き続き行うことにより売上確保に努め、前回予想を上回る見込みであります。

利益面におきましては、上半期の実績に加え、下半期におきましても、経費コントロールを更に進捗させることによって、前回予想を上回る見込みであります。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上